

Orsa

AI·HALL

+

小原延之

共同製作 第3弾



AI·HALL

「死刑は存置が当たり前なのか、撤廃の方がよいのか」という問題にこだわってみました。

見渡す限り、存置が当然のようです。つまり、死刑はあったほうが良いということ。

リーディング公演のためのオーディションに集まっていたいただいた数十名の方々は、一人を除いて当たり前やんと、みんな手を挙げました。

どちらが正義、どちらが進歩的でかっこよいか、ということはさておき「この返事、ちょっと家に持って帰って良いですか」的なことがあってもいいんじゃないのか、というか、悩もうよ、と思いました。

ということで、悩んでみました。集まってもらった役者さんにも悩んでもらいました。制作の方にも悩んでもらいました。再び廻りをつぶさに見渡すと、意外と悩んでいました。

で、個人的には廃止論者の立場を取ることにしました。根が存置派だから、その方が自分の考えが充足していくと期待したのです。日本に住んでいると、八割の意見に反対すると居心地が悪くなってしまふ。特にわたしのような次男体質は(というが実際次男)なおさら及び腰になってしまふ。けれど八割はとてもしっかりい。自治体のトップへの支持も八割を越えたと間違いが起こるから「どげんかせんといかん」。焚書坑儒、文化殺しが始まる。

おそらく日本では、わけのわからない押しつけがましい限り死刑制度は存続します。それは皮肉にも平和憲法を押し付けられなければ自分たちのものにできなかった私たちの姿でもあるのです。

『oasis』は、どうにも自傷気味だな、ということ悩んだ結果がコレですよ、というような作品になります。

卑下しながら前向きになるために『oasis』と題しました。

小原延之(こはら のぶゆき)

68年、福井県生まれ、劇作家・演出家。

AI・HALLとの共同製作として、

07年に『mine!』(第15回 OMS 戯曲賞最終候補)を、08年に『hunter!』を上演。

さまざまな社会問題と真摯に向き合った作風には定評がある。

AI・HALL自主企画

『oasis』

CAST

後藤七重 恒川愛子 中嶋やすき 橋本達也 原真
福田尚子 山口晶子 雪之ダン

3月20日[金・祝] 15:00・19:00* / 21日[土] 15:00

受付開始は開演の40分前、開場は開演の20分前

*20日19:00の回終了後、ポスト・パフォーマンストークあり(ゲスト:加藤聖悟(渡辺源四郎商店店主))

料金 | 一般 前売 / 2,000円 当日 / 2,500円

学生&ユース(25歳以下) 前売 / 1,200円 当日 / 1,500円

※学生証が年齢を確認する物を提示(アイホールのみでの取扱)

(日時指定・整理番号付き自由席) ※未就学児童の入場はご遠慮下さい

チケット取扱 | 電子チケットぴあ / TEL 0570-02-9999 (Pコード: 393-247)

アイホール / TEL 072-782-2000 (2月14日一斉発売開始)

お問い合わせ | アイホール (9:00 ~ 22:00 火曜休館)

TEL 072-782-2000 E-mail info@aihall.com URL http://www.aihall.com/

会場 | アイホール(伊丹市立演劇ホール)

〒664-0846 兵庫県伊丹市伊丹2-4-1



STAFF

作・演出 | 小原延之

舞台監督 | 河村都(CQ)

照明 | 葛西健一(GEKKEN staff room)

音響 | 宮崎孝幸(エッグシェルスタジオ)

劇団 | 関西芸術座、水の会

主催 | 伊丹市 / (協)伊丹市文化振興財団

企画製作 | AI・HALL

平成20年度文化庁芸術拠点形成事業



AI・HALL

AI・HALL + 小原延之 共同製作 第3弾



© 2008 Ai Hall / Shunma Tsukihito



— ドラマ・リーディング『oasis』 —

2008年10月18、19日 at アイホール
本公演に先立ってのプレ公演としてのドラマ・リーディング。
ダブルキャストによる2バージョンを上演。